



議会中継、
会議録検索は
こちらから

一般質問とは、市が執り行う行政事務全般について、議員が質問を行うもので、本定例会では25人の議員が登壇しました。ここでは発言順に質問項目のみを掲載していますので、詳細は富士市ウェブサイト上の本会議の議会中継（録画放送）や2月末頃に発行予定の会議録を御覧ください。会議録は富士市議会ウェブサイトのほか、図書館でも御覧になれます。

Table with 2 columns: Member Name and Question Content. Includes members like 遠藤 盛正, 新家 大輔, 植松 光徳, etc.

新病院建設特別委員会

8月21日に新病院建設についてを議題として開催しました。

●新病院建設の立地エリアの条件は

新病院の建設地として求める立地エリアについては、敷地面積3万平方メートル以上、現病院から3キロメートル以内という条件で抽出することですが、現病院に隣接する土地も候補地となりますか。

富士保健医療圏の病院配置や人口分布を分析したところ、現病院の立地は地域の基幹病院としておおむねふさわしいと考えられるため、現病院敷地や隣接地も含め、3キロメートル以内の土地は全て選択肢として検討します。

●新病院の建設期間の短縮を

先日、当特別委員会で視察した中東遠総合医療センターでは、基本計画策定から4年で開院したそうですが、本市では令和6年度から建設

に取りかかることができたとしても7年程度の期間が必要とのことです。今後、高騰する人件費や資材価格が下がることは考えにくいので、財政負担を軽減するためには少しでも早く建設に着手できるよう前倒していくべきと考えますが、基本構想策定から建設工事に至る流れの中で、どの部分をどれくらい短縮できますか。

7年程度必要というのは市直営方式の場合であり、基本構想に1年、基本計画から実施設計までに3年、建設工事に3年かかるという想定です。仮に、設計施工一括方式で実施した場合は、基本計画から実施設計までの3年をかなり短縮でき、さらに工期も短縮できることから6年弱程度まで短縮できると考えています。

ユニバーサル就労推進特別委員会

8月31日にユニバーサル就労の推進についてを議題として開催しました。

●ユニバーサル就労推進事業への

協力企業のさらなる開拓を

多様な働きづらさの要因に沿って、職場見学や就労体験、自分に合った仕事を見つけるキャリアコンサルタントなど、様々な支援を行っているようですが、個々に寄り添ったオーダーメイドの取組をしていくためには、幅広い職種がそろっていることも重要と考えますので、協力企業の開拓にも努めてください。

●ユニバーサル就労に前向きな企業への優遇措置は

障害者雇用等を行っている工場等の誘致活動では、企業立地促進奨励金制度の雇用奨

励金における障害者を雇用した場合のインセンティブの紹介を行っているとのことですが、過去2年で利用実績はゼロ件でした。対象を雇用奨励金に限定せず、ユニバーサル就労に前向きな企業に対する優遇措置は考えられませんか。

雇用奨励金の対象者としてユニバーサル就労を定義づけることは困難ですが、富士山フロント工業団地第2期の公募審査の際、選考基準の貢献性において、障害者雇用やユニバーサル就労に意欲のある企業は評価します。また、企業側がユニバーサル就労について独自の提案をした場合は、その内容に応じて支援が可能か検討していきます。

政策討論会の報告

8月7日に市民サービスコーナーの存廃についてを議題として、政策討論会を開催しました。

政策討論会は、富士市議会基本条例第13条第1項の規定に基づき、「市政に関する重要な政策及び課題に対して、議会としての共通認識の醸成を図り、合意形成を得る」ことを目的に開催するものです。

今回、マイナンバーカードの普及率が7割以上であることやコンビニ交付件数が大幅に増加していること等から、市民サービスコーナーの存廃について、今後の方向性を提言できるよう開催しました。

サービスコーナーについては廃止に向けた意見が多かったものの、段階的に廃止、あるいは存続すべ

きという意見もあり、今討論会においては統一した結論には至りませんでした。

8月25日に市長に結果を報告し、市民サービスコーナーの存廃については、今後、より踏み込んだ議論が必要であると考えられるため、市民ニーズを把握できる調査の実施、サービスコーナーにおける申請者の実態を把握することを要望しました。

